

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 コモ
 コード番号 2224 URL <http://www.como.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木下 克己

TEL 0568-73-7050

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,639	△6.6	63	△15.3	61	△11.8	△23	—
22年3月期第2四半期	2,826	△3.3	74	△60.3	70	△61.9	28	△71.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△6.48	—
22年3月期第2四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	4,403	859	19.5	237.00
22年3月期	4,375	872	19.9	240.67

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 859百万円 22年3月期 872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,520	△2.5	212	△6.3	200	△7.2	36	△65.6	10.19

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 3,630,000株 22年3月期 3,630,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 5,506株 22年3月期 5,396株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 3,624,571株 22年3月期2Q 3,624,658株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善により緩やかな回復基調にあるものの、雇用環境の悪化、デフレは継続しており、また、海外経済の減速懸念、長期化する円高の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、個人消費の低迷、低価格志向が継続しており、引続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは前連結会計年度に引き続き、パネトーネ種の特性を活かした新製品の開発、製品の品質向上に努め、これまで冬季限定製品としていた「クリーム小町」を通年製品としてリニューアルした他、PB製品4品を新発売しました。

売上高につきましては、配送形態の見直しにより一部増加した業態もあるものの、生活協同組合における1企画当たり販売点数の減少、卸問屋を中心とした競合他社低価格製品の導入等により、総じて低調に推移しました。

利益面につきましては、製造ラインにおいて使用する消耗品等の購入計画の見直し、その他の経費についても見直しを行い、削減に努めましたが、売上高の減少に加え、品質の向上、製造環境の改善に対する設備投資が計画を上回ったこと等により、営業利益、経常利益とも計画を下回る結果となりました。

また、当社グループの保有するその他有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による特別損失を計上したことにより、四半期純利益についても、計画を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26億3千9百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益6千3百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益6千1百万円（前年同期比11.8%減）、四半期純損失2千3百万円（前年同期は四半期利益2千8百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の内容

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2千7百万円増加し、44億3百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（1億3千1百万円）、建物及び構築物の増加（6千7百万円）、機械装置及び運搬具の増加（4千9百万円）、現金及び預金の増加（3千5百万円）などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4千万円増加し、35億4千4百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額（1億5千2百万円）、長期借入金の返済による減少（5千万円）、買掛金の減少（2千5百万円）、未払法人税等の減少（2千4百万円）などによるものであります。

なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ1千3百万円減少し、8億5千9百万円となり、自己資本比率は19.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千5百万円増加（前連結会計年度末比10.1%増）し、当第2四半期連結会計期間末には3億9千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億4千7百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益（8百万円）、減価償却費（1億4千8百万円）、売上債権の減少額（1億3千1百万円）などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億7千8百万円（前年同期比143.8%増）となりました。

これは主に製造設備の取得による支出（2億7千2百万円）などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は6千7百万円（前年同期は1億3千1百万円の支出）となりました。

これは主に短期借入金の純増加額（2億円）、長期借入金の返済による支出（9千8百万円）、配当金の支払額（2千5百万円）などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年11月1日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391,008	355,133
受取手形及び売掛金	607,301	738,563
商品及び製品	48,632	51,344
仕掛品	9,260	9,343
原材料及び貯蔵品	65,899	62,082
その他	55,123	58,535
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,176,925	1,274,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	720,708	652,729
機械装置及び運搬具(純額)	745,287	695,398
土地	1,187,049	1,187,049
リース資産(純額)	87,826	72,813
その他(純額)	35,589	34,532
有形固定資産合計	2,776,460	2,642,523
無形固定資産		
リース資産	3,382	3,876
その他	20,822	13,302
無形固定資産合計	24,204	17,179
投資その他の資産		
投資有価証券	172,912	190,314
その他(純額)	252,864	251,661
貸倒引当金	—	△424
投資その他の資産合計	425,777	441,551
固定資産合計	3,226,443	3,101,255
資産合計	4,403,369	4,375,957

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,113	236,027
短期借入金	2,400,000	2,248,000
リース債務	20,342	16,479
未払金	164,123	175,026
未払法人税等	32,991	57,368
賞与引当金	55,263	53,025
その他	94,845	109,229
流動負債合計	2,977,680	2,895,156
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	225,000	275,000
リース債務	78,203	66,058
退職給付引当金	52,380	50,740
役員退職慰労引当金	72,393	78,152
その他	38,706	38,527
固定負債合計	566,683	608,479
負債合計	3,544,363	3,503,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,000	222,000
資本剰余金	134,400	134,400
利益剰余金	2,440,656	2,489,501
自己株式	△8,358	△8,185
株主資本合計	2,788,698	2,837,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,963	△32,738
土地再評価差額金	△1,932,656	△1,932,656
評価・換算差額等合計	△1,929,693	△1,965,394
純資産合計	859,005	872,321
負債純資産合計	4,403,369	4,375,957

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,826,804	2,639,411
売上原価	1,866,423	1,750,403
売上総利益	960,380	889,008
販売費及び一般管理費	885,763	825,821
営業利益	74,617	63,186
営業外収益		
受取利息	90	80
受取配当金	1,598	1,671
受取家賃	11,332	11,644
リサイクル委託費用返戻金	2,782	1,224
助成金収入	—	2,900
その他	2,711	2,082
営業外収益合計	18,516	19,602
営業外費用		
支払利息	18,826	17,887
その他	4,124	3,004
営業外費用合計	22,951	20,891
経常利益	70,182	61,898
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,173
特別利益合計	—	3,173
特別損失		
固定資産除却損	2,484	3,332
投資有価証券評価損	—	52,380
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,144
特別損失合計	2,484	56,856
税金等調整前四半期純利益	67,698	8,215
法人税、住民税及び事業税	42,329	29,629
法人税等調整額	△3,116	2,057
法人税等合計	39,212	31,687
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△23,472
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,485	△23,472

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,698	8,215
減価償却費	122,145	148,442
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	324	△424
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,455	2,238
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,902	1,640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,987	△5,759
受取利息及び受取配当金	△1,689	△1,751
支払利息	18,826	17,887
有形固定資産除却損	2,484	3,332
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	52,380
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,173
売上債権の増減額 (△は増加)	67,182	131,261
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,817	△1,022
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,699	1,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,200	△25,914
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,738	△20,845
未収消費税等の増減額 (△は増加)	7,053	—
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△8,688	3,269
その他	2,432	2,202
小計	273,729	313,772
利息及び配当金の受取額	1,689	1,751
利息の支払額	△18,006	△17,956
法人税等の支払額	△33,915	△50,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,497	247,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△78	△80
有形固定資産の取得による支出	△107,981	△272,563
投資有価証券の売却による収入	—	4,156
その他	△6,231	△10,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,291	△278,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△100,400	△98,000
配当金の支払額	△25,180	△25,329
リース債務の返済による支出	△6,000	△9,286
その他	△47	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,628	67,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,422	35,875
現金及び現金同等物の期首残高	376,819	355,133
現金及び現金同等物の四半期末残高	354,397	391,008

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。